



コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



基準価額の推移



ファンドのデータ

(2019年7月31日付)

基準価額	11,923円
純資産総額	682百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用について」をご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円	第4期 (2018年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

(2019年7月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.75%	▲4.78%	▲0.26%	▲12.27%	25.80%	19.23%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド(マザー)	91.7%	+1.0%
静岡銀行株式	7.0%	▲0.6%
現金等・その他	1.3%	▲0.3%
構成銘柄	31社	0社

運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎7月の個別銘柄リターン

7月のマザーファンドの月間リターンは、1.37%の上昇、当ファンドの月間リターンは0.75%の上昇となりました。銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「東京エレクトロン(+23.64%)」、「ディスコ(+14.42%)」、「シスメックス(+13.05%)」となりました。東京エレクトロンとディスコは、米半導体大手の好決算などを背景に、半導体市況が底入れして今年の後半から来年にかけて回復するとの観測が強まったことから、株価は大きく上昇しました。シスメックスは、2020年3月期第1四半期決算発表を前に、営業最高益を更新する通期計画に対して順調な進捗が確認できるのではないかと期待感が高まったものと思われます。下位3銘柄は、「楽天(▲12.81%)」、「東レ(▲8.09%)」、「コマツ(▲5.94%)」となりました。楽天は、前月まで株価は強含んで推移していましたが、投資先のひとつである米ライドシェア大手リフト社の保有株式に関して評価損を計上したことなどをを受け、当月は下落に転じました。東レは、ハンガリーにリチウムイオン二次電池用バッテリーセパレータフィルムの設備投資を行うと発表したもののそれほど材料視はされず、景気敏感株が値を下げる局面での売りが優勢となった模様です。コマツは、上海株式市場下落を受けての中国の景気先行きに対する懸念や、同業の米キャタピラーが前年同期比減益の決算発表をしたことなどが嫌気されました。なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は5.29%の下落でした。

アナリスト 原嶋 亮介

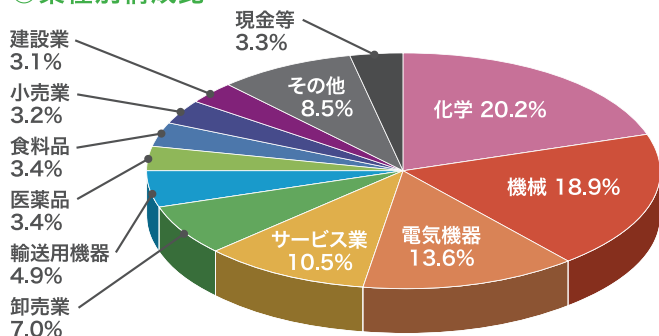
◎運用責任者メッセージ

7月の内外金融市場は、米国の月内利下げ期待の高まり、日欧の緩和姿勢の明確化に加え、豪州、インドネシア、ブラジルなど新興国での利下げもあり、世界的な株高となりました。特に米国はNYダウが節目の27,000ドルを突破するなど主要指数が揃って史上最高値を更新する展開となりました。一方で、国内株式市場も、米国株高などから上昇しましたが、企業業績の不透明感が払拭されず、円高懸念などもあり戻りは限定的でした。売買代金も引き続き低調でした。マザーファンドは1.37%の上昇、投資先30銘柄中、14銘柄が値上がりとなり業種別には半導体関連などがファンドの上昇をけん引しました(東京エレクトロン23.6%、ディスコ14.4%の上昇など)。TOPIX(東証株価指数;配当込)は0.91%、日経平均株価は1.15%の上昇でした。当月は、4-6月期の決算発表を注視しながら押し目買いを徹底しました。その結果、株式組入れ比率は前月比4.9%高まり96.7%となっています。引き続き、米中貿易摩擦や日米貿易交渉などの不透明感が残りますが、米国を中心とする先進国の金融緩和強化は株価を下支えしていくものと考えています。また、調査においても外部環境の変化に対する各企業の対応力をしっかりと定点観測を続けます。引き続き、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

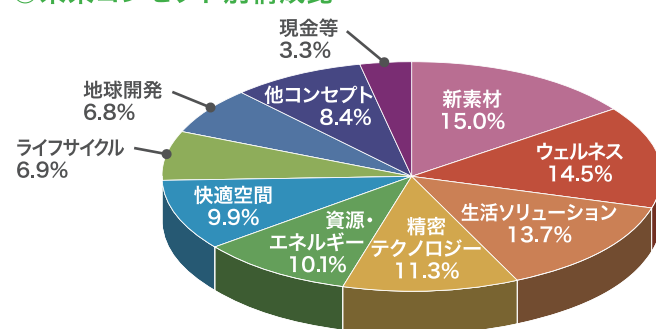
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比

(2019年7月31日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄（静岡銀行株式を除く）

(2019年7月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
6869	シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.9%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.9%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.8%
8058	三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.8%
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.8%
4755	楽天	生活ソリューション	強烈な成長意欲で、アジアを代表するインターネット企業	3.7%
2371	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.7%
3407	旭化成	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業転換を続ける伝統企業	3.7%
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与	3.5%
6501	日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、世の中を便利にする	3.5%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
 「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピックアップ！

7月は東京エレクトロンの株価が23.64%上昇しました。G20大阪サミットで行われた米中首脳会談において、両国が貿易協議の再開で合意し、中国への追加制裁関税第4弾の見送りを表明したことや、中国通信機器大手ファーウェイ社との取引禁止措置を一部緩和したことなどから、半導体設備投資意欲の回復期待が高まりました。加えて、半導体受託生産世界トップ企業の台湾TSMC社が先行きに強気な見方を示したことや、半導体の在庫調整が最悪期を脱しつつあり、2020年に半導体製造装置の需要回復が加速する可能性が指摘されたことなども好感されました。7月26日発表の2019年度第1四半期決算では、売上高▲26.8%の減収、営業利益▲41.2%の減益でしたが、同社の河合社長は「一四半期経てば、顧客の次の設備投資計画が具体化してくると期待している」と今後の見通しへの強気姿勢を崩していません。今後の本格化が期待される5G向け半導体投資や、米IT大手企業“GAFA”などのデータセンター向け情報投資への回復期待などが背景にあると見られます。

シニア・アナリスト 末山 仁

● 企業との対話

コモンズ30塾【企業との対話】『脱プラスチック問題』

コモンズ30ファンド投資先企業セブン&アイ・HDをお迎えして

コモンズ30ファンドの投資先企業をお招きし、定期的開催している「コモンズ30塾」。『脱プラスチック』をテーマに7/26(金)に開催したコモンズ30塾は投資先企業セブン&アイ・HDと日本環境設計をお招きし、これまでにない多くのお客さまにもご参加いただきました。プラスチックの海洋汚染問題などが深刻化する中、セブン&アイ・HDは2030年を目処にグループでのプラスチック製レジ袋の使用量ゼロを目指すと発表しています。また、日本環境設計は、「あらゆるものを循環させる」をビジョンに掲げ、リサイクルした服からエタノールを精製する技術を開発するなど、さまざまなリサイクル事業を展開しており、両社は協業関係にもあります。



まずは、佐藤さまより、セブン&アイ・HDの取り組みについてお話をいただきました。

セブン&アイ・HDは、コンビニのセブンイレブンやスーパーのイトーヨーカドーなど国内外に160もの消費・流通グループを持ち、世界全体では売上は約12兆円、全店舗数は69,200店、一日の来店客数は6,400万人にも上ります。日本国内だけでも全店舗数は22,400店、来店客数は2,400万人です。グループとして大きく成長する一方で規模拡大に伴う環境負荷への課題を認識しており、環境負荷低減に向けた様々な取り組みを展開してこられました。例えば、地球温暖化対策として太陽光発電の利用や、廃プラスチック対策としてのリサイクル活動、食品ロス低減のためのセブンファーム事業などです。その中で、プラスチック問題については、消費量が世界的に激増しており、陸から流出することにより、2050年には海洋中のプラスチックが魚の量以上に増加すると見込まれています。日本ではごみの回収率が高いことから、海への流出は相対的に少ないものの、プラスチック包装容器の廃棄量(一人当たり)で見ると、世界では米国について2番目に多いという現実もあります。

続きはこちらからお読みください。

<https://park.common30.jp/2019/08/30green-challenge-2050hg.html>

最後に、代表の伊井から、改めて「長期投資とは」ということについてお話をさせていただきました。

社会や企業の持続的な成長を支える長期的な取組に着目し、お伝えできるようなセミナーを今後も開催していきたいと考えております。

マーケティング部 福本 美帆

● ちょっといい話

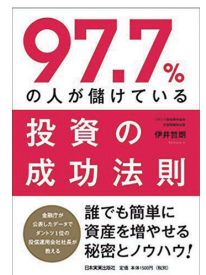
【本を出版しました】

この度、「97.7%の人が儲けている投資の成功法則」という新著を出版しました。ちょっと奇抜なタイトルになっていますが、中身は当社の商品を活用してお客さまが如何に着実に資産を増やしているのかをご紹介します内容となっています。簡単に以下で本のまえがきを引用してエッセンスをご紹介します。

～私は、投資信託協会や金融庁で、「資産運用の高度化」について議論させていただく機会があります。その中で、「よい投資信託を買っても資産は増えないです。」と話をします。えっ?と思われるかもしれませんが、事実です。よい投資信託を購入しても2割程度値上がりすると売却し、また次の商品での値上がりを狙う。しかし、毎回、上手くいくことは稀で、乗り換えた商品で、損失が膨らみなかなか元本まで戻らない、諦めてまた違う商品を購入する…。こうした繰り返して結果として資産を殖やすことが出来ない。そんな方が多かったと思います。それでも、

いまだに金融業界やマネー雑誌・ネット上では、どの商品がいいかの議論ばかりです。「この1年間での値上がり率上位のファンドはこれだ」、「インデックスファンドがいい。いや、このアクティブファンドがいい」なんて議論ばかり。私には、ダイエット器具はどれを選べばいいのかの議論と同じに見えます。「この器具が米国で一番売れている」、「この器具ならテレビを見ながら痩せられる」などの宣伝をよく見ます。どれも事実なのだと思いますが、昔から次々と新しい器具が出続けているところを見ると、よい器具を使っても必ずしもダイエットにつながらない現状があるのだと思います。それは継続が出来ていないからでしょう。何事もそうですが、やはり継続が難しいのです。特に金融商品は、価格変動があり一時的にでも評価損が膨らむと心が折れてしまいがちです。では、当社の商品を活用しているお客さまがいかにして資産を殖やすことに成功しているのかというと、①長期的な資産形成に適した投資信託を、②毎月の積立で購入し、③それを長く続けているからです。それだけです～

当社は、運用姿勢や運用の開示などを通じて、お客さまが心折れずに長期に資産形成が出来る工夫を続けてきました。その結果、多くのお客さまが資産形成を実現されています。先行きが不透明な時代、改めてコモンズ30+しずぎんファンドにご期待ください。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ディーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%※(消費税込)が上限となっております。 ※消費税率が10%となった場合には、年率3.3%が上限となります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%※(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。 ※消費税率が10%となった場合には、年税込1.265%が上限となります。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%※(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。 ※消費税率が10%となった場合には、年率0.11%が上限となります。

● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)

03-3221-8730

■ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>